

5年生の音楽では、こんな力をつけよう！ 伸ばそう！

教科の目標

表現及び鑑賞の活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を次の通り育成することを目指す。

- (1) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- (2) 音楽表現を工夫することや、音楽を味わって聴くことができるようにする。
- (3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う。

学年の目標 ～つきたい力～

- (1) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにします。
- (2) 音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにします。
- (3) 主体的に音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養うようにします。

授業内容

【1学期】

- ・歌声をひびかせて心をつなげよう
- ・音の重なりを感じ取ろう
- ・いろいろな音色を感じ取ろう

【2学期】

- ・和音の移り変わりを感知取ろう
- ・曲想の変化を感じ取ろう
- ・詩と音楽の関わりを味わおう

【3学期】

- ・日本の音楽に親しもう
- ・思いを表現に生かそう

評価の観点 ～伸ばしたい力～

知識・技能

- ・曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解している
- ・表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌ったり、演奏したり、音楽をつくったりしている。
(歌唱や演奏の様子など)

思考・判断・表現

音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだし、音楽を味わって聴いたりしている。
(活動の様子や言動、身体表現など)

主体的に学習に取り組む態度

音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
(話し合いや発表、記述など)